

(様式1)

令和2年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立押上小学校
校長名	島田 和久

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から (平均正答率は、別表参照)

成 果	課 題
<p>◎振り返りカードの活用 (単元ごと)。</p> <p>◎家庭学習の活用・定期的な小テストの実施。</p> <p>【国語】(目標値との比較)</p> <p>○関心・意欲・態度 (目標値 74.2)</p> <p>2年 (+5.9)、3年 (+2.7)、4年 (+10.1)</p> <p>5年 (+7.2)、6年 (+9.1)</p> <p>○話す力・聞く力</p> <p>2年 (+8.6)、3年 (+0.4)、4年 (+10.9)</p> <p>5年 (+1.4)、6年 (+10.0)</p> <p>○書く力</p> <p>2年 (+3.4)、3年 (+4.4)、4年 (+10.3)</p> <p>5年 (+17.5)、6年 (+10.1)</p> <p>○読む力</p> <p>2年 (+13.3)、3年 (+6.5)、4年 (+12.7)</p> <p>5年 (+6.2)、6年 (+7.4)</p> <p>○言語の知識・理解・技能</p> <p>2年 (+2.6)、3年 (+8.3)、4年 (+3.5)</p> <p>5年 (+1.1)、6年 (+0.4)</p> <p>【社会】(目標値より同等、上回る学年)</p> <p>○社会的な関心・意欲・態度</p> <p>4年 (+9.8)、5年 (+2.0)、6年 (+1.7)</p> <p>○社会的な思考・判断・表現</p> <p>4年 (+7.9)、5年 (+1.4)、6年 (+1.5)</p> <p>○観察・資料の活用</p> <p>4年 (+6.2)、5年 (+4.3)、6年 (+6.8)</p> <p>○社会的事象の知識・理解</p> <p>4年 (+1.2)、5年 (+6.0)、6年 (+3.5)</p>	<p>◎基礎基本の定着を図る。</p> <p>◎家庭学習の習慣化をする。</p> <p>【国語】(改善策等)</p> <p>○関心・意欲・態度</p> <p>興味関心をもたせる授業改善をする。</p> <p>○話す力・聞く力</p> <p>言語活動の充実を図る。</p> <p>○書く力</p> <p>書くための必要事項を理解する。</p> <p>○読む力</p> <p>読書の習慣化を進める。わかったことを共有させる。</p> <p>○言語の知識・理解・技能</p> <p>漢字、文章の習得に努める。まずは読むこと。繰り返し学習、習慣化を進める。</p> <p>【社会】(改善策等)</p> <p>○社会的な関心・意欲・態度</p> <p>社会生活の仕組みを具体的に理解させる。よりよい社会の問題解決するように学ぶ。</p> <p>○社会的な思考・判断・表現</p> <p>多角的な思考・判断をさせる。対話的な活動から自己の考えをもたせる。</p> <p>○観察・資料の活用</p> <p>データ資料、地図の読み取りをさせる。</p> <p>○社会的事象の知識・理解</p> <p>地域社会をする。世界の中の日本を学ぶ。</p>

<p>【算数】(目標値より同等、上回る学年)</p> <p>○算数への関心・意欲・態度 2年 (+1.3)、3年 (+1.1)、4年 (+6.7) 5年 (+4.8)、6年 (+1.4)</p> <p>○数学的な考え 2年 (±0)、3年 (+3.4)、4年 (+8.2) 5年 (+2.3)、6年 (+0.5)</p> <p>○数量・図形についての技能 2年 (+2.2)、3年 (+4.3)、4年 (+3.8) 5年 (+4.2)、<u>6年 (-2.7)</u></p> <p>○数量・図形の知識・理解 2年 (+2.5)、<u>3年 (-2.1)</u>、4年 (+3.8) 5年 (+0.3)、<u>6年 (-0.1)</u></p> <p>【理科】(全国平均正答率との差 +5.0p以上)</p> <p>○自然事象についての関心・意欲・態度 4年 (+3.1)、5年 (+5.6)、6年 (+2.3)</p> <p>○科学的な思考・表現 4年 (+6.5)、5年 (+2.4)、6年 (+2.0)</p> <p>○観察実験の技能 4年 (+5.9)、5年 (+4.0)、6年 (+6.8)</p> <p>○自然事象についての知識・理解 4年 (+2.2)、5年 (+0.1)、6年 (+1.2)</p>	<p>【算数】(改善策等)</p> <p>○算数への関心・意欲・態度 数学的活動の楽しさを学ばせる。</p> <p>○数学的な考え 算数で学んだことを日常生活で活用できるようにする。</p> <p>○数量・図形についての技能 基礎的・基本的な数量や図形の内容や性質を理解させる授業の展開をする。</p> <p>○数量・図形の知識・理解 基礎的・基本的な数量や図形の性質を理解させる。</p> <p>【理科】(改善策等)</p> <p>○自然事象についての関心・意欲・態度 自然に親しみ理科の見方・考え方を働かせる授業改善を進める。</p> <p>○科学的な思考・表現 科学的な言語や概念の理解に努めさせる。 予想や仮設、観察、実験、まとめを理解させる。</p> <p>○観察実験の技能 観察、実験を意図的、計画的に進める。</p> <p>○自然事象についての知識・理解 身の回りの生物、環境を理解し学ぶ楽しさを身につけさせる。</p>
---	---

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
【標準スコアの低いもの】(全国平均 50 より+)	【標準スコアの低いもの】(全国は 50 より-)
6年：感動体験 +1.0	6年：先生のささえ -0.7
社会性：社会参画 +1.7	他者からの評価 -1.7
学級の絆 +0.9	思いを伝える力 -1.4
<u>生活習慣</u> +2.2	<u>学習規範</u> -1.8
学習習慣 +1.2	
5年：感動体験 +0.8	5年：先生のささえ -2.2
<u>規範意識</u> +3.5	思いを伝える力 -1.3
いじめサイン +4.3	<u>学習規範</u> -2.3

生活習慣	+2.4		
4年：いじめサイン	+1.4	4年：先生のささえ	-2.8
		充実感とお向上心	-1.8
		学習習慣	-3.6

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<p>【わかる授業・意欲を引き出す授業の実施】</p> <p>○全体的に目標値と同程度、あるいは上回る数値となっている。特に国語での伸びが大きい。</p> <p>【学習内容の確実な定着（DE層の減少）】</p> <p>○学力向上便りを発行し、各学年の区平均と差があった単元、正答率が低かった単元を確認させると共に、教員の意識の向上に努めた。</p> <p>○単元のまとめ、苦手単元の指導等の取り組みを実践する。「振り返りシート」等を活用した。基礎的基本的な学習内容の定着を図ることができた。</p> <p>【教員の資質の向上】</p> <p>○今年度より学力向上便りを定期的に発行させ、児童の苦手意識の改善に努めさせ、児童の理解度の向上から、日々の学習指導に意欲をもって取り組む教員が増えてきている。児童は、自分の考えを表現し、友達と意見を交流して考えを深める姿が見られた。</p> <p>○学年会や日々の実践によるOJTにより、若手教員の指導力が向上した。</p>	<p>【わかる授業・意欲を引き出す授業の実施】</p> <p>○作成した「学力向上プラン」を継続的に実践する。「学力向上プラン」を意識した授業を行う。</p> <p>【学習内容の確実な定着（DE層の減少）】</p> <p>○正答率の低い単元は、単元末や授業の終末に「振り返りシート」等を活用する。正答率の低い単元は、放課後学習を利用し、時間をかけて重点的に指導する。</p> <p>定着していない学習内容については、復習課題の家庭学習、放課後学習を充実させ、習慣化させることが大切である。</p> <p>【教員の資質の向上】</p> <p>○算数では、基礎的基本的な力をより確実にする。また、今後は表現力の向上も重視に入れていく。</p> <p>○学力向上につながるポイントにOJT研修を教職員が主体的に行えるよう、グループでの授業観察、学び合いを奨励していく。また、学習指導の内容を吟味し、計画的に授業を通しての研修を行う。</p>

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 「わかる授業」「楽しい授業」の実施

- 意図的計画的に「わかる授業」を行い、児童が学習意欲を持てる指導を展開させる。
 - ・既習事項を活用した学習場面（導入）を設定する。
 - ・授業展開を工夫し、わかる、楽しい授業を行わせる。
- 主体的・対話的で深い学びを実現できる授業を展開させる。
 - ・児童が授業に意欲的に取り組める「自分の頭で考え、自分の言葉で「こう思う」といえる児童を育てる。
 - ・自分の考えや他の人の考えから新しい考えを紡ぎ出す力を育てる。

(2) 現学年で身につけるべき学習内容の確実な定着

- 「学力向上プラン」を実施する中で、各教科の伸びしろを明確にして授業改善していく。
 - ・定期的に学習の振り返りを行い、個々の児童の実態に応じた重点学習に取り組む。
 - ・個々の学習内容の定着を図るために、学習の単元や題材ごとの振り返り学習を定着させる。
- 学力向上委員会で、「ステップ学習」の指導内容を再検討する。
 - ・「振り返りシート」を冊子（ファイリング）にすることで、確実に実施する。

（3）校内OJTによる指導力の向上

- 学力向上につながるポイント等、学力向上に特化したOJTを行う。授業公開を行うことで「振り返りシート」の活用方法、学習内容のまとめ方等、具体的な指導方法を学び合う研修会を行う。
- 自己申告面談の中間申告、最終申告で、学力向上への取組の進捗状況について再確認する。

3 「令和3年度 墨田区学習状況調査」における目標

- 全国平均を上回る指導を継続していく。（基礎的・基本的な知識・技能等を定着させる。）
- 個別指導を充実させ、DE層を減少させる。（個々に応じた学習指導を展開する。）